

単独病床機能再編計画

令和 4 年 8 月 24 日

佐藤レディースクリニック

○病床削減を行う時期：令和 4 年 12 月 31 日（頃）

○病床削減を行う理由：分娩を総合病院と連携し、診療所では妊婦健診の部分を担うことから、分娩に関し必要とされていた病床を削減する。

○地域の出生数の状況

当院がある大仙・仙北地域では、人口減少・高齢化が進んでおり、出生率（人口千対）の推移をみても、年々減少している。令和元年の出生率は、4.3で、秋田県全体の4.9を大きく下回っている。今後も、出生数がさらに減少していくことが見込まれている。

○分娩件数の推移

分娩件数は年々減少してきており、最近は低い水準で推移している。（下記参照）、人口や出生数の推計から見ても、今後、劇的に状況が改善する見込みは少ないと考えている。

令和 1 年	90 件
令和 2 年	121 件
令和 3 年	98 件

○病床稼働率の推移・状況

分娩件数の減少傾向により、病床稼働率も減少してきている。

令和 1 年	15 %
令和 2 年	15 %
令和 3 年	15 %

○病床削減の内容

出生数が減少傾向にある中、現在稼働していない5床を含めた7床を削減する。

総合病院と連携していく予定であり、妊婦健診は診療所で担い、分娩は総合病院で担うことにより、地域における分娩取扱機能を維持していく。

様式5 ■支給申請額算定シート

1	再編前の稼働病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分(※3)の合計
	① 平成30年度病床機能報告		4				4	4
	② 令和2年4月1日時点(※1)		9				9	9
	③ 再編前病床数=①(※2)	0	4	0	0	0	4	4

- ※1 各機能ごとの数値については、地域医療構想調整会議にて確認されていること。
令和2年4月1日時点で病床数の変化があった場合は、変更前の病床数を記載すること。
平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は、①と同じ値を記載すること。
- ※2 ①平成30年度病床機能報告時又は②令和2年4月1日時点の対象3区分合計のいずれか少ない方を基準とする。
- ※3 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

2	再編後の許可病床数 (=再編後の稼働病床数)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
			2			0	2	2

3	他の医療機関との病床融通数 (※4)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
			0			0
	うち同一開設者の医療機関との病床融通数					(0)

- ※4 病院統合や地域医療連携推進法人の病床融通制度等を活用し、
他の医療機関から病床の融通を受けた場合はマイナス表記、病床を融通した場合はプラス表記とすること。
また、「(参考) 病床融通に関する概要」シートに関連する医療機関の病床数を記載すること。

4	対象3区分から 回復期又は介護医療院へ 転換した病床数	回復期	介護医療院	合計
		0	0	0

5	減少病床数 (1の③-2)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
		0	2	0	0	0	2	2

6	過去に 令和2年度病床機能再編支援補助金 及び本事業で支給済の病床数	支給済病床数	5.減少数	4.うち転換数	6.支給済数	3.うち他院への 融通数	支給対象
		0	2	0	0	(0)	2

7	再編前の許可病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
	① 平成30年度病床機能報告		9				9	9
	② 令和2年4月1日時点(※5)		9				9	9

- ※5 平成30年度病床機能報告から令和2年4月1日までの間に、病床数の変更がない場合は、①と同じ値を記載すること。

8	対象3区分の病棟の 年間在棟患者延べ数(人)	高度急性期	急性期	慢性期	合計
	① 平成30年度病床機能報告(※6)		209		209
	② 令和2年4月1日時点(※7)				0

- ※6 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

- 補正後の年間在棟患者延べ数=年間在棟患者延べ数((48) 欄に記載された数値) ÷ 報告可能な対象期間(月単位) × 12
(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。
例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成30年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位) = 6

- ※7 7の①と7の②の値が同じ場合は8の②の入力は不要。

9	<選択>	対象3区分の病床稼働率	一日平均実働病床数	適用
	A 平成30年度病床機能報告	6.3%	0	
	B 令和2年4月1日時点	0.0%	0	

10	再編前の対象3区分の稼働病床数から一日平均実働病床数までの減少分に係る支給額	単価(千円)	病床数	支給額(千円)
		1,140	2	2,280

11	一日平均実働病床数から再編後の対象3区分の許可病床数までの減少分に係る支給額	単価(千円)	病床数	支給額(千円)
		2,280	0	0

要件 審査	90%減少チェック	○
----------	-----------	---

12	支給申請額(千円)	2,280
----	-----------	-------